

# 救助編



水難救助訓練の様子

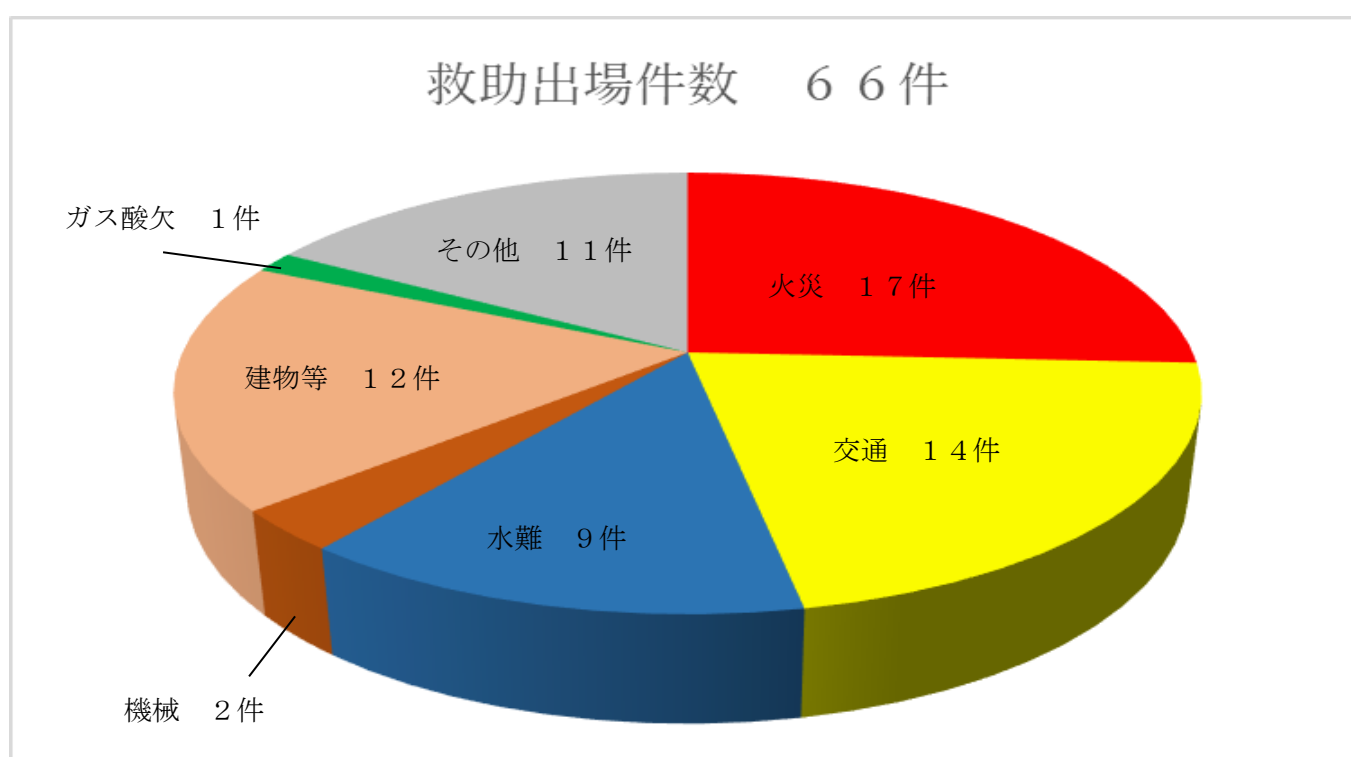
# 1. 救助体制

本市では、昭和53年4月に32mはしご車とポンプ車により救助業務を開始し、翌年3月に救助工作車を配置しました。その後、平成元年に15m級はしご車を配置、平成25年より救助隊から特別救助隊に改め、平成26年より多発する水難事故へ対応するため潜水隊を発足させました。

近年では人口増加、生活環境の多様化、自動車や機械設備等の進化などと共に都市型災害も年々複雑多様化しています。

さらに、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催される予定であり、多くの人々が1ヵ所に集まる場所では、人的災害となりえる「CBRNE災害」・「テロ災害」が発生する可能性があることから、災害対応を円滑にできるように近隣消防、警察及び民間事業者（鉄道会社や建設会社）などの関係機関との合同訓練の機会を設け、あらゆる事案に対応できるように備えております。

# 2. 救助出場状況



## (1) 救助出場状況

令和2年中

区分	事故種別										
	火災	交通	水難	自然	風水	機械	建物等	ガス酸欠	破裂	その他	合計
出場件数	17	14	9			2	12	1		11	66
活動件数	17	4	4			2	10	1		5	43
救助人員	5	4	3			2	9	1		5	29
活動人員	132	57	56			24	74	11		57	411
活動車両	44	20	21			7	25	5		18	140

(2) 活動概要

令和2年中

発生月	発生場所	事故種別	活動概要
1月	新曽南 地内	機械事故	機械を清掃中、ローラー部分に指が挟まれたため、救助要請となったもの。 機械を工具にて外し、ローラーに動力を伝達させるチェーンを切断し救出したものの。
3月	下前 地内	その他の 事故	体動困難の男性を、住宅2階腰窓よりはしご水平2法にて救出したものの。
4月	大字新曽 地内	建物等による 事故	安否確認による救助要請。要救助者が扉にもたれかかっており、外側から開放出来ないため、扉の樹脂パネル部分を弁慶で破壊し救出したものの。
5月	川口市 地内(緑川)	水難事故	川へ入水後、自力で上がれなくなったため、救助要請となったもの。 かぎ付きはしご等を活用し、救出したものの。
6月	戸田公園 地内(荒川)	水難事故	荒川でボートを漕いでいた学生が、浮いている人を発見し通報したものの。 救命ボートにより検索したところ、要救助者を発見し救出したものの。
7月	笹目 地内	その他の 事故	子どもとかくれんぼ中に、洗濯層内に体感部が挟まり抜けなくなったため、救助要請となったもの。洗濯機上部を工具にて外し、洗濯層を油圧救助器具にて切込みを入れ間隙を作成する。医師要請をし、医師による鎮痛剤2回投与後、救助活動再開し、徒手にて引き揚げ救出したものの。
7月	さいたま市 地内(高速)	交通事故	高所作業車が車線変更してきた乗用車と衝突後に横転し、運転手の男性1名が自力脱出不能となり、救助要請となったもの。 油圧救助器具及び車両のウインチを使用し救出したものの。
7月	笹目 地内	交通事故	車2台と自転車の関係する事故により、自転車を運転していた男性1名が車と電信柱の間に左足を挟まれ脱出不能となり、救助要請となったもの。 救助工作車のウインチを使用し、救出したものの。
8月	氷川町 地内	その他の 事故	体重約150kgの傷病者、体動困難があり室内狭隘のため、住宅2階のベランダよりはしご水平2法により救出したものの。
8月	笹目北町 地内	その他の 事故	男性1名が腰部痛により2階居室にて体動困難のため、救助要請となったもの。住居内の階段が狭隘により搬出困難のため、車両クレーンを使用し、2階バルコニーから救出したものの。
9月	下戸田 地内	ガス酸欠 事故	ヘリウムガスによる自損行為。搬出困難による救助要請。住宅2階窓より簡易縛帯を使用した応急はしご救出により救出したものの。
9月	笹目南町 地内	その他の 事故	高所作業車にて高さ17m付近で作業中、バスケット内で電線に接触し、男性1名が受傷したものの。また、高所作業車のバスケットが操縦不能になり、地上に降ろせないための救助要請。別の高所作業車を使用し救出したものの。
10月	さいたま市 地内	交通事故	車3台による玉突き事故のより、トラックの運転席側のドアが変形し、さらに下肢が挟まれているため、救助要請となったもの。 車両のウインチにて牽引をし、油圧救助器具にてドアを開放し救出したものの。
12月	川岸 地内	交通事故	大型トラックと自転車の関係する事故により、自転車を運転する女性1名が、自転車ごと車軸部に挟まっていたもの。エアバッグを使用し、救出したものの。

### (3) 他市救助応援出場状況

令和2年中

事故種別 管轄	火災	交通	水難	自然風水	機械	建物等	ガス酸欠	破裂	その他	合計
蕨市消防本部										0
川口市消防局		1	1							2
さいたま市消防局		2								2
県南西部消防本部									1	1
東京消防庁		1	3							4
合計		4	4						1	9

### (4) 救助活動現場



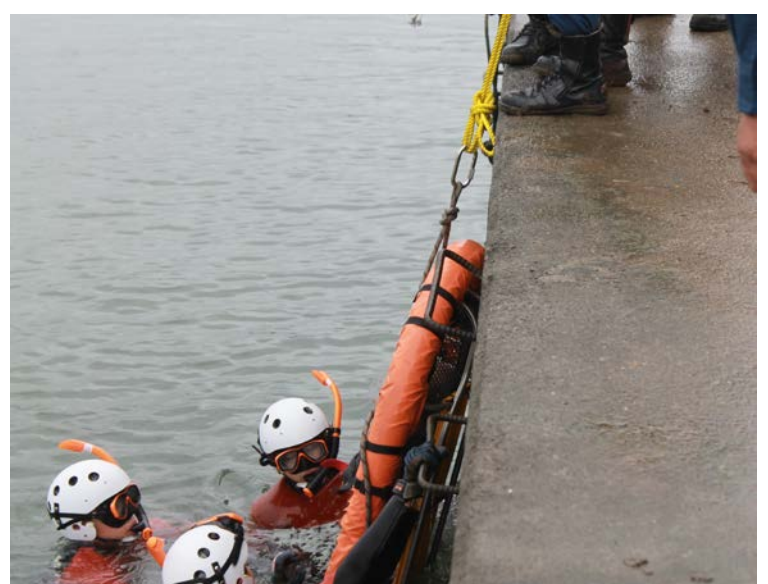
三連はしごを使用しての水平救助活動



救助工作車クレーンを使用しての救助活動



交通救助活動（高速道路）



水難救助活動（荒川）

# 3. 救助出場の推移

種別 年別	火災	交通	水難	自然水	機械	建物等	酸ガス	破裂	その他	件出数	件活数
平成 28 年	13	5	7	1		24			16	66	60
平成 29 年	10	6	7		1	11			17	52	46
平成 30 年	21	12	9		3	17			11	73	59
令和元年	15	14	7	4	2	23	1		43	109	58
令和 2 年	17	14	9		2	12	1		11	66	43



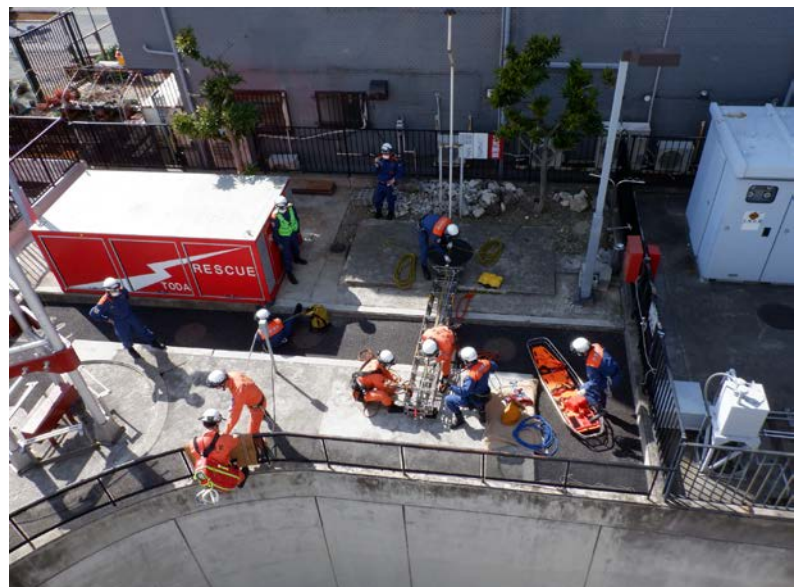
浦和地区人身事故早期復旧訓練（座学）



浦和地区人身事故早期復旧訓練



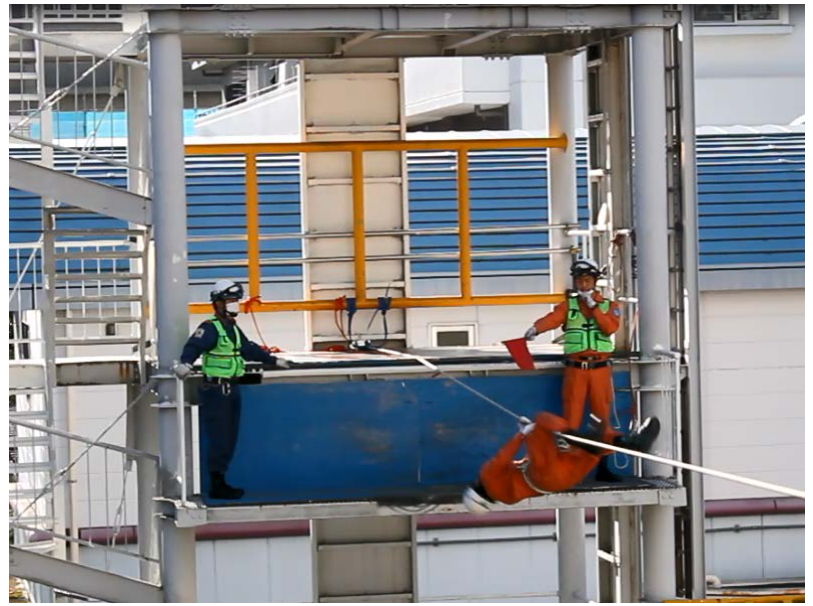
水上バイクによる水難救助訓練



効果確認



35m級梯子車による技能効果確認



救助技術指導会 署内選考（ロープブリッジ渡過）



救助技術指導会 署内選考（ロープブリッジ救出）



救助技術指導会 署内選考（ほふく救出）



潜水育成隊員 適性確認



車両解体訓練

# 4. 消防本部保有資機材

令和2年4月1日現在

一般救助用器具	保有数	重量物排除用器具	保有数	切断用器具	保有数	
<ul style="list-style-type: none"> <li>かぎ付はしご</li> <li>三連はしご</li> <li>ワイヤはしご</li> <li>空気式救助マット</li> <li>救命索発射銃</li> <li>サバイバースリング及び救助用縛帯</li> <li>平担架</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9(2)</li> <li>7(1)</li> <li>2(2)</li> <li>1(1)</li> <li>1(1)</li> <li>13(12)</li> <li>1(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>油圧ジャッキ</li> <li>油圧スプレッダー</li> <li>可搬ウィンチ</li> <li>マンホール救助器具</li> <li>救助用簡易起重機</li> <li>マット型空気ジャッキ</li> <li>大型油圧スプレッダー</li> <li>救助用支柱器具</li> <li>チェーンブロック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3(3)</li> <li>2(2)</li> <li>2(2)</li> <li>1(1)</li> <li>0</li> <li>1(1)</li> <li>1(1)</li> <li>2(2)</li> <li>1(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>油圧切断機</li> <li>エンジンカッター</li> <li>ガス溶断器</li> <li>チェーンソー</li> <li>鉄線カッター</li> <li>空気鋸</li> <li>大型油圧切断機</li> <li>空気切断機</li> <li>コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3(3)</li> <li>8(2)</li> <li>1(1)</li> <li>4(1)</li> <li>6(2)</li> <li>1(1)</li> <li>1(1)</li> <li>1(1)</li> <li>0</li> </ul>	
破壊用器具	保有数	検知・測定用器具	保有数	呼吸保護用器具	保有数	
<ul style="list-style-type: none"> <li>万能斧</li> <li>ハンマー</li> <li>携帯用コンクリート破壊器具</li> <li>削岩機</li> <li>ハンマドリル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>14(7)</li> <li>7(1)</li> <li>1(1)</li> <li>1(1)</li> <li>1(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物剤検知器</li> <li>可燃性ガス測定器</li> <li>有毒ガス測定器</li> <li>酸素濃度測定器</li> <li>放射線測定器</li> <li>※1 有毒ガス検知管</li> <li>※1 化学検知器</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>0</li> <li>4(2)</li> <li>6(4)</li> <li>4(2)</li> <li>5(4)</li> <li>1(1)</li> <li>1(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空気呼吸器</li> <li>空気補充用ボンベ</li> <li>酸素呼吸器</li> <li>簡易呼吸器</li> <li>防塵マスク</li> <li>送排風機</li> <li>エアラインマスク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>50(10)</li> <li>58(2)</li> <li>5(3)</li> <li>2(2)</li> <li>35(5)</li> <li>1(1)</li> <li>0</li> </ul>	
隊員保護用器具	保有数	水難救助用器具	保有数	検索用器具	保有数	
<ul style="list-style-type: none"> <li>耐電手袋</li> <li>耐電衣</li> <li>耐電ズボン</li> <li>耐電長靴</li> <li>防塵メガネ</li> <li>携帯警報機</li> <li>防毒マスク</li> <li>化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）</li> <li>陽圧式化学防護服</li> <li>耐熱服</li> <li>放射線防護服</li> <li>特殊ヘルメット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7(5)</li> <li>7(5)</li> <li>7(5)</li> <li>7(5)</li> <li>25(5)</li> <li>24(5)</li> <li>36(10)</li> <li>24(4)</li> <li>5(5)</li> <li>2(0)</li> <li>2(2)</li> <li>7(5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>潜水器具</li> </ul>	18(18)	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡易画像探索機</li> </ul>	2(2)	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>救命胴衣</li> </ul>	46(11)	<th>除染用器具</th> <td>保有数</td>	除染用器具	保有数
		<ul style="list-style-type: none"> <li>水中投光器</li> </ul>	18(18)	<ul style="list-style-type: none"> <li>除染シャワー</li> <li>除染剤散布器</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1(0)</li> <li>1(0)</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>救命浮環</li> </ul>	8(4)	<th>山岳救助用器具</th> <td>保有数</td>	山岳救助用器具	保有数
		<ul style="list-style-type: none"> <li>浮標</li> </ul>	6(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>登山器具</li> <li>バスケット担架</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>0</li> <li>5(3)</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>救命ボート</li> </ul>	9(1)	<th>その他の救助器具</th> <td>保有数</td>	その他の救助器具	保有数
		<ul style="list-style-type: none"> <li>船外機</li> </ul>	9(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>投光器</li> <li>携帯投光器</li> <li>携帯拡声器</li> <li>携帯無線機</li> <li>応急処置用セット</li> <li>車両移動器具</li> <li>緩降機</li> <li>ロープ登降機</li> <li>救助用降下機</li> <li>発電機</li> <li>ウォーターカッター</li> <li>大型ブロアー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10(2)</li> <li>28(8)</li> <li>21(6)</li> <li>27(3)</li> <li>6(1)</li> <li>2(0)</li> <li>3(2)</li> <li>7(7)</li> <li>6(6)</li> <li>14(5)</li> <li>0</li> <li>0</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>水中スクーター</li> </ul>	0	<th>高度救助用器具</th> <td>保有数</td>	高度救助用器具	保有数
		<ul style="list-style-type: none"> <li>水中無線機</li> </ul>	1(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>画像探索機</li> <li>地中音響探知機</li> <li>※1 熱画像直視装置</li> <li>夜間用暗視装置</li> <li>電磁波探査装置</li> <li>二酸化炭素検査装置</li> <li>水中探査装置</li> <li>地震警報器</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>0</li> <li>0</li> <li>3(1)</li> <li>0</li> <li>0</li> <li>0</li> <li>0</li> <li>0</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>水中時計</li> </ul>	18(18)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>水中テレビカメラ</li> </ul>	0					

※ この表は、救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令を基に作成したもの。

※ () 内の数は、特別救助隊保有数。

※1 救助調査業務の項目に該当しないが、当市において保有している資機材。